

教科等研究会（中学校道德部会）

令和3年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

かさねる ひろがる 深まる 道德授業のあり方
～対話を生かした指導法の工夫～

2 研究経過

	期 日	場 所	内 容
第1回	6月14日(月)	木山中学校	○研究テーマ協議、研究計画、研究組織づくり等
第2回	8月19日(木) <small>※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止</small>	木山中学校	○研究授業指導案検討
第3回	10月29日(金)	蘇陽中学校	○研究授業及び授業研究会 教 材 名:「ごみ箱をもっと増やして」 (「新しい道德1」東京書籍) 内 容 項 目: C(10) 公德心 授 業 者: 山都町立蘇陽中学校 井手口哲子教諭
第4回	1月18日(火) <small>※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止</small>	木山中学校	○各学校における道德教育取組の実践報告 ○今年度の研究のまとめ

3 研究の概要

(1) 研究の内容

上益城郡教科等研究会全体テーマ『児童生徒一人ひとりが輝く「分かる・できる」「楽しい」授業づくり』を受け、本部会では、研究テーマを「かさねる ひろがる 深まる 道德教育のあり方～対話を生かした指導法の工夫～」に設定した。

道德科が目指すものは、道德性を養うことである。また、道德的価値に向き合い、いかに生きるべきかを自ら考え続ける姿勢こそ道德教育が求めるものである。中学生の発達段階においては、様々な道德的価値について、学校や家庭、地域社会における様々な体験、道德科における教材との出会いやそれに基づく他者との対話などを手がかりとして自己との関わりを問い直すことによって、そこから本当の理解が始まるのである。（学習指導要領解説より）

道德科の目標と照らし合わせながら研究テーマについて議論していく中で、生徒が学ぶべき道德的価値が、授業者の押し付けや誘導にならないようにするため、生徒の道德的諸価値の理解を基に、他者や自己との対話を通して自己の人間としての生き方についての考えを深める「対話的な学び」が重要になるのではないかと、という意見にまとめ、今年度は対話を生かした指導法の工夫を通して「かさねる」「ひろがる」「深まる」道德教育のあり方について研究を進めていくことにした。

(2) 成果と課題

① 成果

第3回研究会では、授業研究会を実施し、学習構想案の作成に際して留意する点や道德の授業におけるICTの効果的な活用方法についての意見を出し合い、有意義な研究会となった。

また、構想案の中で「学習を終えた時の生徒の姿」を具体的にイメージすることで、生徒たちの学びの側に立った学習課題や学習活動を設定でき、見通しをもった授業展開を行うことができることがわかった。さらに、本研究会のサブテーマにもある「対話を生かした指導法の工夫」の部分では、授業支援クラウド“ロイロノート”を活用し、友だちの考えを知ることによって自分の考えを広げたり深めたりすることができていた。

② 課題

コロナ禍で研究会を中止せざるを得ず、実施回数が例年より減り、研究を深めることができなかった。今後は、オンラインによるリモートでも充実した研修ができるように、研修内容について検討を行う必要がある。

4 実践事例

(1) 授業の概要

今回の教材「ごみ箱をもっと増やして」は、ルールや決まりがどうあるべきかを考えることができる教材である。授業支援クラウド“ロイロノートを使って色のカードを示し、立場をはっきりさせたり、事前アンケートをテキストマイニングで提示したりとICTを活用しながら授業を展開し、「自分さえよければ」という考えでなく、「どうすれば、自分もみんなも気持ちよく過ごせる社会が作られるか」について議論を深めていった。

(2) 学習構想案（授業者 山都町立蘇陽中学校 井手口哲子 教諭）

主題名	だれもが気持ちよく過ごせる社会を目指して（内容項目 C-10）:公徳心 法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。			
ねらいと教材	(1) ねらい 街の中にごみ箱を増やすかどうかの話し合いを通して、公徳心について理解を深め、誰もが気持ちよく生活できるよりよい社会の実現のために努めようとする態度を育てる。 (2) 教材名 「ごみ箱をもっと増やして」 出典「新しい道徳1(東京書籍)」			
評価の視点	評価の視点1 街の中にごみ箱を増やすべきかどうかの話し合いを通して、よりよい社会を築くためのルールやきまりについて多面的・多角的に考えている。	評価の視点2 ごみ箱がなくて困ったことなど、自分自身の経験と重ね合わせ、自分ならどうしたいかを発言したり書いたりしている。		
	目指す生徒の姿 よりよい社会を築くためにルールやきまりがあることに気付き、社会の中で守るべき正しい行いを大切にしようとする生徒			
	主題に迫る学習課題 だれもが気持ちよく生活できるよりよい社会にするために、自分にできることはなんだろう。	本主題で働かせる見方・考え方 規律ある安定した社会の実現について多面的・多角的に捉え、自分自身のこれからの生き方について考えること。		
内容項目相互の関連的・発展的な指導，各教科等や体験活動等との関連的指導				
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; text-align: center; vertical-align: top;"> <p>各教科等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>各教科の学習活動 ルールを守り、安全に気を付けながら、互いの頑張りを認めながら協力すること。</p> </div> <p>総合的な学習の時間</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>総合的な学習の時間 花いっぱい運動 防災学習</p> </div> </td> <td style="width:33%; text-align: center; vertical-align: top;"> <p>道徳科</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>1年「選手に選ばれて」 主題名 義務について考えよう</p> </div> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>1年「ごみ箱をもっとふやして」(本時) 主題名 だれもが気持ちよく過ごせる社会を目指して</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>2年「宝塚方面行き—西宮北口駅」 主題名 よりよい社会のために</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3年「缶コーヒー」 主題名 次世代の担い手として</p> </div> </div> </td></tr></table>			<p>各教科等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>各教科の学習活動 ルールを守り、安全に気を付けながら、互いの頑張りを認めながら協力すること。</p> </div> <p>総合的な学習の時間</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>総合的な学習の時間 花いっぱい運動 防災学習</p> </div>	<p>道徳科</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>1年「選手に選ばれて」 主題名 義務について考えよう</p> </div> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>1年「ごみ箱をもっとふやして」(本時) 主題名 だれもが気持ちよく過ごせる社会を目指して</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>2年「宝塚方面行き—西宮北口駅」 主題名 よりよい社会のために</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3年「缶コーヒー」 主題名 次世代の担い手として</p> </div> </div>
<p>各教科等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>各教科の学習活動 ルールを守り、安全に気を付けながら、互いの頑張りを認めながら協力すること。</p> </div> <p>総合的な学習の時間</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>総合的な学習の時間 花いっぱい運動 防災学習</p> </div>	<p>道徳科</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>1年「選手に選ばれて」 主題名 義務について考えよう</p> </div> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>1年「ごみ箱をもっとふやして」(本時) 主題名 だれもが気持ちよく過ごせる社会を目指して</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>2年「宝塚方面行き—西宮北口駅」 主題名 よりよい社会のために</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3年「缶コーヒー」 主題名 次世代の担い手として</p> </div> </div>			

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所				
中学校学習指導要領「特別の教科 道徳」内容項目 C 主として集団や社会との関わりに関すること 10 遵法精神、公德心 法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。				
本主題における系統				
(省略)				
生徒の実態				
■学習するにあたっての学級及び生徒の様子(省略)				
■学習に関する意識の状況 本主題に関わる生徒の実態(一部省略)				
質問事項	とても	まあまあ	あまり	全く
①ルールは守るべきだと思いますか。		数値は省略		
②学校や学級で決まったことは守るべきだと思いますか。		数値は省略		
③学校や学級で決まったことを守ろうとしていますか。				
質問事項	はい	いいえ	わからない	
④公共の場で「マナー違反だ」と思うようなことを見たことがありますか。			数値は省略	
⑤公共の場で「マナー違反だ」と思われるようなことをしたことがありますか。			数値は省略	
■考察				
<p>アンケートの結果からルールやマナーは守るべきであると思っている生徒が80%近くいる。また法律は守るべきであると答えた生徒は100%であった。ルールやマナーが何のためにあるのかという質問には「誰もが過ごしやすくするため」「みんなのため」と、ルールやマナーが必要だと感じている。</p> <p>公共の場でのマナー違反については、見たことがあると答えた生徒は半数だったが、自分がしたことがあると答えた生徒は0%で、わからないと答えた生徒が半数を超えた。普段無意識にマナー違反を行っている可能性があることを踏まえ、身近なごみ問題を取り上げ「自分さえよければ」という考えでなく、「どうすれば、自分もみんなも気持ちよく過ごせる社会が作れるか」と考えさせたい。</p>				
教材の価値				
<p>本教材「ごみ箱をもっと増やして」は、とある新聞への投稿と、それに対する3つの意見で構成されている。投稿者が短期留学で行った米国にはごみ箱が多かったが、日本には少なく不便に感じている。ごみを持ち帰る啓発ポスターも目にするが、草むらなど人目につかない所には、ごみがポイ捨てされている。このことから、町にごみ箱をもっと増やした方がよいのではないかと投稿者は思っている。この投書に対して、観光名所や公園には設置してほしい、ごみ箱の完全撤去を望む、環境を守るためにはごみは持ち帰ろう、という意見が寄せられた。</p> <p>これらの意見を通して、さまざまな考えやこれまで気が付かなかったことに触れ、自分の在り方を見つめなおし、ルールやきまりがどうあるべきかを考えることができる教材である。</p>				

3 指導に当たっての留意点

本校研究テーマ「主体的に学び、粘り強く学習に取り組む生徒の育成」を実現するために、次の2点を重視する。

- ① 生徒が自ら取り組みたいと思う学習課題の設定
ごみ問題に関して、最初に東京での電車を使った実証実験の映像を使い、興味を持たせることで自分だったらどうしたいかと考えさせるようにする。
- ② 主体的に取り組む時間、生徒自らが答えを導き出す時間の確保
ロイロノートを活用して自分の立場をはっきりさせたり、普段の学校生活での会話などを取り上げたりすることで、自分ごととしてとらえられるようにする。

4 本時の学習

(1)ねらい

ごみ箱の問題を通して、生徒一人一人が社会のルールやきまりに目を向け、互いに安心して生活できる、よりよい社会を実現しようとする態度を育てる。

(2)展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	10分	<p>1 映像を見てアンケートに答える。 ○取組を見て、どのように感じましたか。 ◇素晴らしい取組 ◇一人一人が持ち帰れば良い ◇手間がかかる</p> <p>2 なぜこのような取組が行われているか考える。 ○東京都は、なぜこのような実証実験を行ったのでしょうか。 ◇ごみが多い ◇人件費がかかる ◇片づけない人がいる</p>	<p>・一見よい取組のように見えるが、そこにはどのような問題があるのかを考えさせる。</p> <p>・東京都の取組の意図を考えることで、本時の内容につなぐ。</p>
課題: 誰もが気持ちよく過ごせる社会とは			
展開	35分	<p>3 教材を読んで考える。 (1) 教材の文章に賛成か反対か、ロイロノートを使って立場をはっきりさせる。 (2) 続きの文章を読んで、ごみ箱を増やすことについてどのように思うか、改めて考える。</p> <p>4 ごみ問題について考える。 (1) ごみ箱以外にごみを捨てたところがあるか。 (2) 教室にごみが落ちていたら拾うか。</p> <p>5 ルールやきまりについて考える。 (1) 世の中にルールやきまりがあるのはなぜか考える。 (2) 事前アンケートで、書いていたことをテキストマイニングで提示する。 ◎誰もが気持ちよく生活できる社会にするためにはどうしたらよいだろう。 ◇自分だけを優先しない</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【期待される学びの姿】 話し合いでは、ごみ箱を増やすことのメリットやデメリットを考え、多面的・多角的に考えている。友達の意見を聞いて、よりよい社会にするには何が必要かを考えている。</p> </div> <p>6 自分を見つめ、これからの生き方につなげて考える。 ○誰もが気持ちよく過ごせる社会を目指して自分にできることは何か考える。</p>	<p>・最初の文章を読んだ時の考えと、二つ目の文章を読んだ時の考えを比較できるようにし、なぜ意見が変わったか、もしくは変わらなかったかを考えさせる。</p> <p>・ロイロのカードをもとに、ペアで意見を交換させ、ごみ箱を増やすことについての問題を多面的・多角的にとらえさせる。</p> <p>・テキストマイニングを使うことで、考えを可視化し、「誰もが気持ちよく過ごすためには」どうしたらよいかを把握しやすいようにする。</p> <p>・班で意見を交流させ、皆が納得できる意見を記入させる。</p>
終末	5分	<p>5 教師の話聞き、今の思いを綴る。 ○一枚の写真から、互いのことを考えた行動をすればルールがなくても、誰もが気持ちよく生活ができる、よりよい社会になっていくことを感じる。</p>	<p>・法律や決まりがなくても、互いを思いやれば誰もが過ごしやすい世の中になっていくことを感じさせ、今後の生活につなげさせる。</p>

【評価の視点1】 街の中にごみ箱を増やすべきかどうかの話し合いを通して、よりよい社会を築くためのルールやきまりについて多面的・多角的に考えている。(方法:発表・ワークシート)

【評価の視点2】 ごみ箱がなくて困ったことなど、自分自身の経験と重ね合わせ、自分ならどうしたいかを発言したり書いたりしている。(方法:発言・ワークシート)